

人民新報

発行所：人民新報社 <http://www.rousyadou.org/>
〒160-0022 東京都新宿区新宿4-1-22
新宿コム口BLD 702 橋本勝史

郵便振替 00150-3-30439 定価 一部200円
送料共 半年1500円／1年3000円

イラン侵略戦争をただちに止めろ

日本の参戦国化を許すな



特別国会開催日行動 (2・18)

内外情勢は急変している。世界は各地に戦火がひろがり、核戦争の脅威も増大している。昨年、トランプ第二期政権と高市政権が発足したが、これらの政権はより危険な状況をつくりだそうとしている。

だが、トランプ政治が具象化されるにつれてその矛盾は鮮明となり、批判の声は高まってきている。トランプに追従する極右高市政権もおなじ道をたどることだろう。

いま、多くの人びとの反戦平和・社会変革運動の強化・拡大が求められているが、すでにその兆しは見えない。

高市自身の「台湾有事」存立危機事態」発言などで窮地に陥った状況での自己都合解散・総選挙は、「国論を二分するような政策で審判をおおぐ」としながら争点隠しの逃げの姿勢をとりつづけた。欺瞞的な与党の策略と野党の対抗軸の曖昧化・準備不足によって自民党が戦後初の「単独3分の2超」を獲得した勢いを背景に特別国会での首相演説は「高市カラーの全面展開」となった。

はじめている。

極右政策を強行する高市

高市自身の「台湾有事」存立危機事態」発言などで窮地に陥った状況での自己都合解散・総選挙は、「国論を二分するような政策で審判をおおぐ」としながら争点隠しの逃げの姿勢をとりつづけた。欺瞞的な与党の策略と野党の対抗軸の曖昧化・準備不足によって自民党が戦後初の「単独3分の2超」を獲得した勢いを背景に特別国会での首相演説は「高市カラーの全面展開」となった。

責任ある積極財政と外交・安全保障・インテリジェンス機能の強化、そして「どのような国を創りたいのか、その理想を物語るのが憲法」と述べ、改憲への意欲を明確化した。

責任ある積極財政と外交・安全保障・インテリジェンス機能の強化、そして「どのような国を創りたいのか、その理想を物語るのが憲法」と述べ、改憲への意欲を明確化した。

ドローン・AIなど新しい戦い方への対応など継戦能力の強化、サイバー・宇宙領域の強化、そのための防衛費の増額数値目標を柱とする。くわえて台湾・空港・通信網などを有事に活用できるよう国内インフラの防衛利用、殺傷兵器など防衛装備移転の制限の撤廃である。高市政権は、長射程の「スタンド・オフ・ミサイル」を熊本市の陸上自衛隊・健康駐屯地に配備する工事を始めた。これらの政策は、先制攻撃につながる敵基地攻撃能力の保有である。

大軍拡は、すでに国の財政が破綻している状況をいっそう悪化させ、増税をもたらし、国民生活を圧迫することになるのは必至だ。なにより国会審議・民意を無視した決定であり、憲法違反であることは明白だ。

泥沼にはまるトランプ

11月の米国中間選挙をまえに、インフレ、関税政策の最高裁の違憲・無効判決、強引な移民政策、エブ

殺害し続けている。

イランは湾岸にある米軍基地などをミサイル・ドローン攻撃すると共に、石油輸送の要衝・ホルムズ海峡の封鎖をおこなった。トランプは、早期勝利を達成しようとしたが、逆に、長期戦の泥沼に陥らざるを得ない局面にきている。

トランプの戦争は、原油・LNG価格を急騰させ、世界経済にインフレ圧力と景気減速を同時にもたらすタグレーション型ショックとなる可能性を高めている。これは米国のインフレを激化させるもので、トランプの中間選挙対策には大きなマイナスとなっている。苦境を脱するつもりは、トランプの「逆転」のためには、打ち壊そうとしている。だが、トランプは、戦争を止めるつもりはなさそう。

2月28日、イランと核問題の交渉中にある米国は、突如、騙し討ちに、イスラエルとともにイランの軍事施設、指導部、核関連施設を一斉攻撃し、最高指導者ハメネイ師を含む多数の高官を殺害した。直ちにイランの報復攻撃が始まった。

その後も、米国、イスラエルはイラン空爆を繰り返し、多くの民間人を含む多数を

原油高騰に直撃される日本

トランプの期待するのは、

高市の日本である。ここからかきりなく米国のための力を引き出す舞台が、3月19日に予定されている高市訪米と日米首脳会談の場である。

だがその日本はかつてない厳しい状況に直面している。日本は中東原油の依存度が高く、第一生命経済研究所レポート(3月6日)は次のような指摘を行っている。2026年度の実質GDPをマイナス0.38%(標準的な悪化予測)から、最悪のシナリオでは、マイナス1%近く押し下げ可能性がある。原油価格(WTI)が現在の90ドル台から130ドル、あるいは150ドルまで上昇した場合、日本から海外へ流出する富が増大し、国内の景気が急速に冷え込む。ガソリン代は補助金がなければ200円超、悲観シナリオではさらに上昇。電気・ガス代は燃料費調整額の上昇により、標準家庭で年間約1万円の負担増が見込まれる。その結果、実質賃金がマイナス転落する。減産

と物流停止など実体経済への波及は大きい。その他の研究の予想もおしなべて深刻な影響は免れないとしている。政府は、石油備蓄について、約254日分(国家備蓄(146日分)、民間備蓄(101日分)、産油国共同備蓄(7日分)の約8ヶ月分の在庫があり、また、LNGは約3週間分があると言っている。だが、それも短期間の対処しか出来ないだろう。

「ホルムズ海峡を封鎖」との波及び大きい。その他の研究の予想もおしなべて深刻な影響は免れないとしている。政府は、石油備蓄について、約254日分(国家備蓄(146日分)、民間備蓄(101日分)、産油国共同備蓄(7日分)の約8ヶ月分の在庫があり、また、LNGは約3週間分があると言っている。だが、それも短期間の対処しか出来ないだろう。

「存立危機事態」とは認定していない。日本政府は、ホルムズ海峡の状況を「物理的・法的な完全封鎖」ではなく、民間の自主的な通航見合わせによる「事実上の停滞」と位置づけた。また、イラン側も「公式には閉鎖していない」との主張を繰り返しているためとして、イラン革命防衛隊が

「ホルムズ海峡を封鎖」と声明したと報じられ、海峡は「事実上の封鎖」状態にあり、米国の同盟国同志国の船舶も攻撃を受け始めた。政府と主要マスコミが、石油備蓄が切迫し、国民生活に回復不能な損害が出るなどを強調し始めたら、「存立危機事態認定の兆候」と見るべきだろう。政府が「存立危機事態」を認定した場合、自衛隊による機雷掃海や米軍への後方支援など、武力行使を伴う活動がはじまる。また、イランを「敵対勢力」と見なせば、イランとの関係は断絶し、自ら報復を招くことになる。

①海上自衛隊の機雷戦能力の向上、②米海軍との相互運用性の向上であり、主要訓練項目は、機雷戦(機雷敷設、機雷掃海、機雷掃討及び水中処分)となっている。参加部隊は、海上自衛隊から訓練統制官に掃海隊群司令、艦艇15隻(掃海母艦×1隻、掃海艦×2隻、掃海艇×12隻)、航空機1機(MCH-101、水中処分員(横須賀、舞鶴、大湊、沖縄水中処分隊)。米海軍からは、訓練統制官に第5機動水中処分隊派遣隊長、水中処分員、UV操作員等(第5機動水中処分隊)などが参加し、ホルムズ海峡などでの実戦を強く意識した演練であったといわれる。

「火中の栗」日米首脳会談 こうしたなかで行われる日米首脳会談では、米国内の一方的な要求に高市・日本政府がどう対応するかが注目されている。イラン攻撃からまだ2週間、戦火が拡大し、ホルムズ海峡の封鎖が「事実上の常態化」し始めたばかりのこの時期に、トランプ大統領と対峙するのは極めてリスクが高く、まさに「火中の栗」を拾いに行くタイミングといえよう。

トランプが突きつけてくる予想される要求の柱は、軍事的には、自衛隊の「実力行使」を伴う参加による「米軍の負担軽減」と「日本による直接的なリスク負担」であろう。経済面では、対イラン・対中「経済封鎖」への同調、米国内への「1兆ドル規模」の巨額投資などだろう。いずれも「アメリカ・ファースト」そのものであり、高市はそれに「ミー・トゥー」とばかりに完全同意するのだろうか。

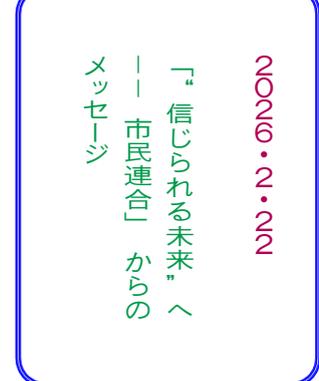
争点なき選挙戦をうみだし、自民党の大勝をもたらしてしまっただけの野党と市民の共闘強化の段階から、極右高市政権と闘う戦線を再編強化すべき局面に入った。

反撃はなにより大衆的な運動の高揚を目指して実際の活動の展開から始まる。自民党政権打倒・政権交代のためには、はっきりとした対抗勢力の強化が必要であり、外交・安保・憲法や原発、賃金、社会保障などの面を確固たる立場を鮮明にうちだし、対抗勢力の形成・強化をはからなければならぬ。

2月22日、市民連合が主催して「信じられる未来へ希望の新しい選択」市民と野党の共同アクションを開催し、会場の有楽町イトシア前は約1000人の参加者で埋め尽くされ、この日、「『信じられる未来へ』市民連合」からのメッセージ(三面に掲載)が発表された。その後も国会前をはじめ各地・各種の集会などの行



「信じられる未来」へ
——市民連合——からの
メッセージ



走する自公政権 散によって実施された先の 総選挙では、準備不足の立 憲野党は壊滅的な敗北を喫 して異議申し立て 行っ ました。高市氏の「日本 列島を強く豊かに」という スローガンは、実際きわめ て抽象的で、その具体的な 根拠は薄弱だったにもかか わらず(あるいはむしろそ れゆえに)、野党、特に新 たに結党された「中道改革 連合」は、これに対抗する 魅力的な世界像を打ち出す ことができませんでした。 さらにまた、それまで立憲 政治を守るために「市民と 野党の共闘」を支持してい た多くの市民にとって、平 和憲法、沖縄、原発といっ た基本政策における同党の 変節ぶりは、権力追求の策 に溺れた、市民置き去りの、 理念なき政治として映りま した。

このように選挙をするたび に右傾化が進む政治状況に は、さらに大きな背景があ ります。世界的に、「今 だけ、カネだけ、自分(た ち)だけ」という新自由主 義的な社会病理が拡大し、

格差是正や分断克服のため の「政治」の機能は弱まり、 民主主義は軒並み危機に瀕 しています。代わりに、排 外主義や国家主義、21世 紀版の「ファシズム」や反 フェミニズム・反知性主義 が大手をふるって跋扈する ようになり、「勝てば官軍」、 「やったもの勝ち」という むき出しのへ力による政 治が台頭しています。さら に、「世界終末時計」が警 告するような核戦争の危機 や年々深刻化する気候危機 などをもふまれば、私たち は今や根源的な「複合危機」 に直面しているとも言えま す。

一方、このような地球大の 危機の時代において、この 国の政治は依然として「タ コソボ」から脱することが できません。政府や政党、 多くの既存組織も、自分た ちの生き残りのために精一 杯で、来るべき国家像や社 会の包括的なあり方を論じ る余裕もありません。企業 や大組織、一部の富裕層だ けが政治を左右する「裏金

政治」は、日本の政治をもっ とも歪めてきた構造的な政 治課題であるにもかかわらず、特に先の総選挙で高市 政権の「裏金議員」が大量 当選したことで、その克服 への道は依然として塞がれ たままです。政府は、当面 の軍事的脅威に相も変わら ず、ただ軍拡と軍事同盟へ の依存で対応し、またエネ ルギー高騰にも原発の再稼 動で応じるだけです。この ような真の展望を欠いた、 その場しのぎの政治は、結 局はただ未来世代にその矛 盾を先送りするだけです。

このような未来を展望でき ない政治の下で、常に約半 分の有権者は選挙に行かず、 多くの若者は政治に絶望し ています。若者たちの多く は、生活に追われ、未来そ のものを信じることができ ずにあります。もはや既存の 政治勢力に希望を失った少 数からずの有権者は、立憲 野党にも見切りをつけ、新 興の「一度に何か変えてく れそうな」指導者に一縷の 期待を託すようにもなりま

した。日々不安の海の中で 溺れながら生きる私たちに とって、たとえば国を「強 く豊かに」すると高らかに 宣言する新たな指導者に、 自らのほかない夢を託すよ うになることはむしろ自然 かもしれません。

しかし、「信じられる未来」 は、誰かに与えられるもの ではありません。既存の組 織の、既存のメニューから ただへ消費者」として選択 するだけでは、危機の克服 は困難です。私たちは「主 権者」として、まさに政治 のへ生産者」となる必要が あります。私たち市民連合 は、今後あらゆる既存の組 織と垣根をこえた対話をし ながら、本当に信じるに足 る未来を地域から構想した いと思っています。この国 の平和を希求する市民が本 当に求めるものを草の根か ら共に見いだし、政治に反 映させたいと思います。

「信じられる未来」の構想 が必要で、安保法制から 安倍関連三文書、さらには スパイ防止法や緊急事態法 の設置をはじめとする憲法 改正、あるいは核保有の議 論に至るまで、今後政府は 国会の絶対的な数の力で、 再び戦争国家への道を突き 進むでしょう。確かに、こ の度の選挙で、国会内にお いてそれを押しとどめる力 はきわめて限られたものにな りました。しかし私たち 市民は、平和の砦(とりで) を再び路上から築き上げる ことができます。けっして 忘れてはなりません。歴史 の作り手は、いつも私たち 民衆でした。

私たち市民連合は、2015年に国会で安保法制が強行採決され、この国の立憲主義が根底から脅かされたことに対して、きわめて広範な市民が抗議し結集する中で誕生しました。それから約10年、自公政権はさらに歯止めなく憲法の平和主義と専守防衛原則を逸脱し、戦争準備に突き進んできました。沖縄南西諸島をはじめとする軍拡も加速しており、今月の総選挙では、さらなる軍拡路線と改憲を掲げる自民(維新(高市)政権が地滑りの勝利をおさめました。いま、平和憲法の戦後最大の危機が訪れています。

私たちが市民連合は、この10年、「市民と野党の共闘」による政権交代を訴え、暴

散によって実施された先の総選挙では、準備不足の立憲野党は壊滅的な敗北を喫して異議申し立て行っ ました。高市氏の「日本列島を強く豊かに」というスローガンは、実際きわめて抽象的で、その具体的な根拠は薄弱だったにもかかわらず(あるいはむしろそれゆえに)、野党、特に新たに結党された「中道改革連合」は、これに対抗する魅力的な世界像を打ち出すことができませんでした。さらには、それまで立憲政治を守るために「市民と野党の共闘」を支持していた多くの市民にとって、平和憲法、沖縄、原発といった基本政策における同党の変節ぶりは、権力追求の策に溺れた、市民置き去りの、理念なき政治として映りま

このように選挙をするたびに右傾化が進む政治状況には、さらに大きな背景があります。世界的に、「今だけ、カネだけ、自分(たち)だけ」という新自由主義的な社会病理が拡大し、

格差是正や分断克服のための「政治」の機能は弱まり、民主主義は軒並み危機に瀕しています。代わりに、排外主義や国家主義、21世紀版の「ファシズム」や反フェミニズム・反知性主義が大手をふるって跋扈するようになり、「勝てば官軍」、「やったもの勝ち」というむき出しのへ力による政治が台頭しています。さらに、「世界終末時計」が警告するような核戦争の危機や年々深刻化する気候危機などをもふまれば、私たちは今や根源的な「複合危機」に直面しているとも言えます。

一方、このような地球大の危機の時代において、この国の政治は依然として「タコソボ」から脱することができません。政府や政党、多くの既存組織も、自分たちの生き残りのために精一杯で、来るべき国家像や社会の包括的なあり方を論じる余裕もありません。企業や大組織、一部の富裕層だけが政治を左右する「裏金

政治」は、日本の政治をもっとも歪めてきた構造的な政治課題であるにもかかわらず、特に先の総選挙で高市政権の「裏金議員」が大量当選したことで、その克服への道は依然として塞がれたままです。政府は、当面の軍事的脅威に相も変わらず、ただ軍拡と軍事同盟への依存で対応し、またエネルギー高騰にも原発の再稼動で応じるだけです。このような真の展望を欠いた、その場しのぎの政治は、結局はただ未来世代にその矛盾を先送りするだけです。

このような未来を展望できない政治の下で、常に約半分の有権者は選挙に行かず、多くの若者は政治に絶望しています。若者たちの多くは、生活に追われ、未来そのものを信じることができずにあります。もはや既存の政治勢力に希望を失った少数からずの有権者は、立憲野党にも見切りをつけ、新興の「一度に何か変えてくれそうな」指導者に一縷の期待を託すようにもなりま

した。日々不安の海の中で溺れながら生きる私たちにあって、たとえば国を「強く豊かに」すると高らかに宣言する新たな指導者に、自らのほかない夢を託すようになることはむしろ自然かもしれません。

しかし、「信じられる未来」は、誰かに与えられるものではありません。既存の組織の、既存のメニューからただへ消費者」として選択するだけでは、危機の克服は困難です。私たちは「主権者」として、まさに政治のへ生産者」となる必要があります。私たち市民連合は、今後あらゆる既存の組織と垣根をこえた対話をしながら、本当に信じるに足る未来を地域から構想したいと思っています。この国の平和を希求する市民が本当に求めるものを草の根から共に見いだし、政治に反映させたいと思います。

「信じられる未来」の構想が必要で、安保法制から安倍関連三文書、さらにはスパイ防止法や緊急事態法の設置をはじめとする憲法改正、あるいは核保有の議論に至るまで、今後政府は国会の絶対的な数の力で、再び戦争国家への道を突き進むでしょう。確かに、この度の選挙で、国会内においてそれを押しとどめる力はきわめて限られたものになりました。しかし私たち市民は、平和の砦(とりで)を再び路上から築き上げることができます。けっして忘れてはなりません。歴史の作り手は、いつも私たち民衆でした。

ここに私たち市民連合は、自らを新たに「信じられる未来」へ——市民連合——と名づけ、あらゆる試行錯誤を積み重ね、みなさんと一緒に未来を構想し、新しい市民政治の可能性を探求したいと思ひます。

「積極財政」=高市政権に立ちふさがるのは 当面、為替・債権市場の反乱か ①

関 孝一

⑧アメリカ・イスラエルによるイラン侵攻の衝撃

2月28日にアメリカ・イスラエルはイランと核開発問題協議が継続中にも関わらず大規模な爆撃を開始し、最高指導者のハメネイ師を殺害した。これは国際法を無視する主権国家に対する侵略行為であり国連憲章違反であることは明白である。以降アメリカ・イスラエル両軍のイラン全土へのミサイルや空爆による攻

撃は激化している。それに對してイランは「協議継続は騙し討ち」と「最高指導者の殉教」を大義名分としてイスラエルはじめ中東全域に及ぶ米軍基地への弾道ミサイル・ドローンによる

これまでのない規模で反撃を続けている。トランプ政権の戦争目的は当初、イランによる「差し迫った脅威」を理由としてイランのレジームチェンジ(体制転換)を公然と掲げていた。しかしイランは対抗措置としてホルムズ海峡の通行停止を実行に移したことで世界のエネルギー市場で過去最大級の

の大混乱が始まった。原油価格は侵攻前の1バレル60ドル台が一時119ドルに急騰した。ホルムズ海峡では世界の全原油輸送の約20%以上がこの狭い水域(幅約33km)を通過しておりイランによる封鎖は世界経済に大きな影響を与えている。

⑨ホルムズ海峡封鎖による原油の影響
日本へ中東産原油を輸送

するタンカーは片道で約3週間(20~25日間)かかる」とされる。日本は原油輸入量の約9割を中東に依存しておりこの封鎖が長期化すれば3月下旬以降、輸入の激減が表面化する可能性がある。すでに国内のガソリン・軽油代は上昇しており昨年末廃止されたガソリンの軽減税率分25.1円の効果は薄れ1リットル

200円台も想定される。その影響は燃料代に留まらず基礎化学品エチレンの生産設備を止める可能性がある。日本はエチレンの原料となるナフサ(粗製ガソリン)の約6割を輸入しており、中東産ナフサは輸入の約7割を占め国内在庫は20日程度とみられる。ナフサを熱分解してエチレンやプロピレンなどを生成しプラスチックの原材料として自動車や家電、食品の包装材料など幅広い製品の原料となっている。中東からのナフサ供給の制約の影響で日本企業などの販売先への供給義務を免れる「フォース

⑩中東産天然ガスの途絶
3月初旬、カタール国営カタールエナジーはイランによるドローン攻撃を受け、世界最大級のLNG(液化天然ガス)輸出施設での生産を一時停止し、不可抗力宣言(フォース・マジョール)を宣言した。日本のカタールからの輸入シェアは

約5%程度であるが、カタールは米国に次ぐ世界第2位のLNG輸出国であり生産量は世界供給量の約20%に相当する。そのため欧州の指標ガス価格が40%急騰している。

日本は火力発電の約3割をLNGに依存しており、在庫はわずか2~3週間分。長期的な供給途絶が生じた場合、電力不足(ブラックアウト)のリスクや電気料金が高騰する可能性がある。国民民主党の玉木

は「動かせる原発はすべて動かすべき」とし、テロ対策施設(特重施設)の審査ルールを柔軟化」などと危機に便乗した言動を行っている。また天然ガスは窒素肥料(アンモニアや尿素)の原料として必須であり、世界最大級の尿素・アンモニア生産・輸出拠点であるカタールの供給がストップしていることは、これから北半球の春の植え付けのため肥料の需要が高い時期と重なる。世界的な肥料供給網が寸断されたことで、肥料価格が急騰しており日本

への影響も免れない。これまで通りのガソリン等の補助金増額などは赤字国債増発となり一段の物価高に繋がる。また原油高は日本の貿易収支の大幅赤字となり円安に歯止めがなくなる。円安はすべての価格上昇を招く。その中で高市政権は無責任な「積極財政」路線を押し通すことが出来るのか。生活を直撃される市民・労働者は暮らしを守る行動を起さざるを得なくなる。アメリカ・イスラエルのイラン侵攻の影響は中東にとどまらず、原油高・LNGインフレによる通貨安・金利高・株式暴落などの世界恐慌勃発に及ぶ可能性がある。



ロシアがウクライナへの侵略を始めてから4年と続いている。2022年2月24日、ロシアはウクライナに侵襲を開始し、ウクライナを占領し、ロシアの傀儡政権を樹立した。この侵略行為は国際法を無視し、国連憲章違反であることは明白である。ロシアはウクライナに侵襲を開始し、ウクライナを占領し、ロシアの傀儡政権を樹立した。この侵略行為は国際法を無視し、国連憲章違反であることは明白である。

とめよう3・7原発全国集会 8500人が結集

原発をなくす全国連絡会、これ以上海を汚すな！市民会議、脱原発福島ネットワー、脱原発をめざす首長会議、反原発運動全国連絡会、福島県平和フォーラム、ふくしま復興共同センターの構成によるもの。

メインステージでの集会では、主催者を代表して呼びかけ人の鎌田慧さんが発言し高市首相は原発推進政策を進めているが、原発再稼働反対の各地の多くの人びととともに大きく運動を作っていく。

超党派議員連盟「原発ゼロ・再エネ1000の会」の阿部知子事務局長（前衆院議員）の特別発言。メインスピーチの盛岡大学長の長谷川公一さんは、福島事故は東電と日本政府

3月7日、代々木公園B地区で「とめよう原発 全国集会」持続可能で平和な社会をーが開かれ、8500人が参加した。脱原発とだと強調した。

全国集会実行委員会は、さようなら原発1000万人アクション実行委員会、原発事故被害者団体連絡会、



何よりも命が大切だと述べた。

リレートークで、柏崎刈羽原発再稼働の是非を考える新潟県民ネットワー、津島原発訴訟団、「原発のない福島をー県民大集会」実行委員会、フクシマ連帯キャラバン、甲狀腺がん子ども支援ネットワーから、闘争報告と表明決意が述べた。

脱原発をめざす首長会議世話人の三上元さん（静岡県湖西市議・湖西市長）は、再生可能エネルギーの推進を進めようと述べた。

集会後は、渋谷と原宿の2コースでパレード。

鹿児島からの報告 衆院選と脱原発

鹿児島島の衆議院選挙を振り返って

私が関わっている戦争をしない国づくり応援団では憲法9条を守り、戦争準備に反対する政党（共産党と社民党）を支持、推薦することになった。

昨年の尾辻明実選挙についての報告で状況が変わりつつある予感について述べたが今回これとは真逆の結果が出た。保守地盤の流動化とみられたものから「右翼バネ」といったような自民党高市政権への支持拡大が全県下で見られたことである。若い層を中心に社会の現状に対する不満、要求に高市政権の掲げた「フォーアンス」が宣伝も含めて合致したのかと思われる。いずれにしても再考の余地があるとの念が強い。県下でよく見られた3つのポスター「強くて豊かな日本」を打

小里泰弘（自民） 85 が必須である。

782 ストップ川内原発13・8

4区 森山裕（自民） 102 がかしまパレード

727 3月8日、東北震災から15年をうけて鹿児島では天文館公園で犠牲者を追悼し原発を廃止していく集会が350人の参加で開催された。

76 中村壽（国民） 240

11 桐原都生（参政） 222

329 伊藤周平（社民） 15

私の居住する3区では自民党小里候補と中道改革の野間候補の一騎打ちとなった。結果は僅差で野間候補の勝利となった。3区は従来から旧社会党系の支持者の多い地盤である。

1区 宮路拓馬（自民） 9

0872 川内博史（中道） 56

626 牧野俊一（参政） 26

585 小山慎之介（共産） 42

28 2区

28 三田園訓（自民） 114

850 高橋徳美（参政） 352

99 松崎真（共産） 1727

7 3区

17 野間健（中道） 885

の高市政権を打倒する運動

3・1朝鮮独立運動107周年
大軍拡と戦争国家の道、排外主義反対！
今こそ東アジアの平和な未来を！



新宿駅前でのリレートーク (3・1)

高市首相の「台湾有事」発言などにより東アジアの緊張がいつそう高まる情勢のなかで、2月28日、文京区民センターで「3・1朝鮮独立運動107周年大軍拡と戦争国家の道、排外主義反対！今こそ東アジアの平和な未来を！」(主催・「3・1朝鮮独立運動」日本ネットワーク)が開かれた。

ジャーナリストの布施祐仁さんが「高市政権の大軍拡と『軍国主義』の道を問う—今こそ『信頼による平

道を進んでいて、戦略的自主性を強めている。今年の一月に訪中した李在明大統領は習主席と互恵的協力の推進で合意し、今後は首脳会談を年1回以上開くことでも合意した。2月18日には在韓米軍のF16戦闘機約10機が訓練中に中国軍機と一時対峙する緊張事態が発生したことで在韓米軍に抗議し、在韓米軍司令官が韓国軍当局に謝罪することになった。安全保障においては「強さ＝平和」ということではない。軍事力ではかなわない大国を相手にした場合、本当に力になるのは「信頼」だということではないだろう。最後に日本国憲法前文の「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」ということをもう一度強調しておきたい。

韓国は日本とは違った

続く韓国ゲストの講演で

は、招請していたパク・ソグンさん(韓国進歩連帯常任共同代表、社会大改革委員会委員長)が、羽田到着時に入管事務所が入国拒否する暴挙を働いた。急遽、ソウルからオンラインでチュ・ジェジュンさん(韓国進歩連帯政策委員長)が、「ユン・ソニョル(尹錫悦)一味の親衛クーデターを粉砕した『光の広場、市民の闘と社会大改革』」と題して報告。2022年5月、尹錫悦政権は発足以降、改革と国政刷新はおろか、誤った国政基調にしがみつき逆走を続けてきた。各種の不正が明らかになり、大きな尹錫悦退陣闘争がくりかえし展開された。追いつめられた政権は12月3、4日、非常戒厳宣布の暴挙を行ったが、多くの民衆が国会の前に集まり戒厳軍を阻止した。国会の扉を乗り越えた国会議員たちが戒厳解除を議決した。一部の軍人と警察は消極的な対応だった。4日の午前9時「尹錫悦の不法戒厳糾弾！内乱罪の尹錫悦退陣！国民主権実現の

ための全面的抵抗運動」を宣言した。11日に「尹錫悦即刻退陣、社会大改革非常行動」が発足し、全国の約1700以上の団体が加盟した。そして14日には、尹錫悦弾劾訴追が議決され、国会前の集会には200万人が参加した。6月3日の大統領選挙で李在明当選を実現し、「国民主権政府」がスタートした。内乱終息・民主憲政を守る円卓会議には、民主党、祖国革新党、進歩党、基本所得党、社会民主党が参加し、市民参加型の政治改革による民主政治の復元と連合政治実現のための制度改革への取り組みがはじまった。

集会は最後に緊急声明「パク・ソグン氏の入国拒否に抗議する」を参加者全員で採択した。

翌3月1日には、新宿駅南口前で3・1独立運動107周年当日集会が開かれ、右翼の執拗な嫌がらせを跳ね返してリレートークが行われた。

今月のコラム

切迫する老い

—高橋源一郎著「ぼくたちはどう老いるか」を読む

「はじめに」で著者は書いている、「誰もがみんな『老い』る。そして、誰もがみんな死んでゆく。誰もが歩む『道』がある。だから、その『道』を楽しく歩きたい。そのためにはなにを書けばいいのか、それを自身のために。みんなのために」

鶴見俊輔の「もうろく」

年から2011年まで「もうろく帖」、「もうろく帖」後篇を書いた。69歳から87歳にかけて、断片的に、時には数か月も間をおいて。「ぼくたちの先に『老い』の海を航海した人たちの記録」として著者はゆっくりと何度も読み返す。こんな具合だ：1994年鶴見は癌が見つかり手術を受け「もうろく帖」にこう記す「今ここにいる。／ほかに何をのぞもうか。／「歳をとると、どんな人は死んでいく、そのことをみんな知っている。けれども、なかなか『自分の問題』として考えることはしない—略—『老い』とか『死』のことは考えたくないのだ」鶴見の癌との向き合い方は他の多くの人とは違っている。「『癌』になる。『癌』のことを考える。それはいい。けれども『癌』のことしか考えられなくなったら、それはよくない。それは『癌』に支配されてしまうことだからだ。／支配されてはならない。それがなであって。—略—鶴見さ

んは生涯をかけてずっと
『支配されてはならない』
といいつづけてきた、それ
が人間なのだ、と考えてき
た』。

鶴見の文章を巡ってとつお
いつ考え、時に前言撤回し、
さらに考え詰めるのが著者
のスタイルだ。だから決し
て読みやすくはない。坦々と
論理を追っていくのではな
いから。むしろ著者と対話
しながら一緒に考えていく
ことが求められる。

家族から見た「古い」ー吉
本隆明の場合

吉本の長女でマンガ家の
ハルノ雫子著「降明なもの」
を取り上げる。「自分が
『古い』てゆく有り様を、
一番近いところにいる『家
族』はどう見ているか」
「それは、当事者からは、
決して見るこのできない
風景」なのだ。吉本が亡く
なる4、5月前のある夜、
へ玄閥で「ガチャン！」と
いう音がした。あわてて階
下に降りて行くと、玄閥の
石のたたきに父が転がって
いた。杖を握りしめ、セー

大人人でもあった一人の人
間を見守った。そこには混
乱や衰えや『ボケ』もあつ
た。でも、いつまでも、そ
の人は、奥深いところにあ
る『その人らしさ』決して
失うことはなかった。ハル
ノさんがぼくたちに教えて
くれるのは、そのことだ」。

「恍惚の人」が暴いた社会
の「本音」

1972年に刊行され1
40万部のベストセラーと
なった有吉佐和子著「恍惚
の人」が描いたのは「『老
い』が、どうやって『家族』
の間に入り込み、『家族』
を破壊し、通りすぎてゆく
かであった。また同時に、
『古い』によって壊された
『家族』をどうやって修復
してゆくのかが、という問題
でもあった」舅が次第に
「恍惚の人」に変貌してい
くのを眼前にした家族の戸
惑い。「『異物』との付き
合い方を彼らは知らないの
だ。社会がぼくたちに教え
るのは、『異物は排除せよ』
という論理だけなのだ」
「『古い』は不条理である。

作者はそう考えている。そ
れは受け入れることが不可
能な事態なのだ。もともと
『古い』が不条理なのでほ
ない。社会がそのように仕
向けているからである。一
略『役割』を終えた人間
は、その最後の仕上げとし
て『古い』という罰を受け
るのである。いや、『古い』
が罰としか考えられなくな
るのである一略『恍惚の
人』は、この国、この社会
において、初めて『古い』
にひそむ問題を人々の前に
引きずり出した。社会が隠
していた『本音』を赤裸々
に描いたのである」。しか
し「社会」って何だろう？
搾取の対象・資本増殖の手
段としてしか人を見ない資
本主義を内面化した集団の
ことだろうか。

主人公昭子は「度童に帰っ
た舅の姿に生まれたばかり
の頃の息子の姿を重ね合わ
せ、へ「信仰しているのか
し、宗教っていつのかし
ら、神様に奉仕しているよ
うな気がする」ときがありま
す」と隣人に語る。葬儀で
はだれも泣かなかった。だ
れに見えた妻の認知症が次

が「『家族』はちがった。
泣いていたのは昭子だけで
はないはずだ一略なぜ彼
らは泣いたのか茂造が『家
族』だったからである。茂
造は『古い』、その『古い』
を受け止めることができる
ほど成熟した後彼らは真の
『家族』になったのである。
真の『家族』とは、社会に
侵食されない『家族』だ。
そんな『家族』だけが、お
たがいをまもることができ
るのである」。そう、そし
てそのような家族とは決し
て肉親に限定されるもので
はないのだろうか。

夫婦がともに『古い』ると
き 次筆者は私小説家耕治
人（こう はると）最後の
連作「天井から降る哀しい
音」「どんな縁で」「そ
うかもしれない」を取り上
げる。「そこには、長い生
涯を共に生きた夫婦が、そ
の最後にどうなっていくの
かが、恐ろしいほど鮮明に、
かつ詳細に描かれている」。

第に深刻化してゆく。鍋を
焦がしボヤを出し炊飯器を
ガスコンロにかける、徘徊
し、失禁し、夫は自らの老
いをおして必死に面倒を見
る。実に凄惨な場面の連続
だ。でもその中で夫にはふ
と幸せな気持ち湧く。
「『私』にはわかったのだ。
へ人は最後に『赤ん坊』に
戻るのだ。『古い』や『認
知症』がたどる場所は、
そこだったのだ」。妻を老
人ホームに入れた矢先に夫
の癌が判明する。もはや手
術もかなわない。そうして
夫は最後の小説を書き始め
る。老人ホームの親切な職
員たちが妻を病院に連れて
きてくれる。職員が何度目
かに「ご主人ですよ」と妻
に言ったとき、妻は「『そ
うかもしれない』と低いが、
はつきりした声でいった」
妻が老人ホームに帰った
後「点滴の身を忘れ、時の
経つのも忘れ、いつか私は
ベッドの上に正座していた」
その私の体は、自然とBM
ホームがあると思われる方
へ向いていた」と小説は終
わる。
「誰でもがたどらねばな
らない運命、それにもかか
らず、その当事者たちが
自らの手で克明に記したこ
とのない物語。それを書く
ことこそが、自らの『生』
を描き続けてきた作家の責
務なのだ。耕治人はそう信
じたのだ、とぼくは思っ
て」

高橋源一郎

誰もが歩む「古い」道を
たのしく歩きたい
「古い」の世界へ分け入って
その先へ

上野千鶴子推薦！
本日は老いボク、ワタシの当事者研究だ、
そのための最新のテキストがここに

ぼくたちはどう老いるか





の地位にある。

総選挙の結果、立憲民主
党と公明党が結成した新党
「中道改革連合」は公示前

の167議席から49議席
と激減した。当選者は立憲
系が公示前の144人から
21人となったのに対し、
公明系は21人から28人
に増加。旧立憲系では安住
淳共同幹事長、小沢一郎氏、
岡田克也氏ら幹部が小選挙
区で落選し、比例復活もな
かった。

1月22日の「中道新党」
の結成に際し、中道の野田
佳彦共同代表は「1足す1
が2に届かなかつたら失敗
だ」と166議席以上の獲
得を目指した。「失敗した
ら責任を取りたい」と述べ、
選挙後は「(この敗北の)
罪、万死に値する」と語っ
たが、いまなお衆議院議員

今回の中道新党の結成は政
策においても、選挙戦術に
おいても、小の公明が大の
立憲を飲み込んだことが明
らかで立憲民主の大敗北だ。
比例区候補は旧公明党優先、
小選挙区には旧公明党は立
たず、立憲を応援するとい
う選挙戦術は旧立憲側にとっ
ては大失敗だった。

26年に亘って自民党と
連立し旧民主党系と闘って
きた公明党(地盤は創価学
会)は短期間に立憲支持に
移るのは不可能だった。短
期間の新党結成と選挙準備
では、公明党の地方議員な
どが立憲の選挙演説に熱心
に顔を出す演出は見られて
も、水面下の創価学会の動
きは鈍重だった。

中道新党の政策問題でも、
原発、安保法制、沖縄など
立憲からみれば新党には従
来の主張とは異なる重大な
方針転換があった。これら
の点でも、新党は長期に自
民党と連立政権を組んでき
た公明党の立場に大きく偏
ることになった。立憲の候
補には安住幹事長らから、

小が大を飲み込んだ中道新党

(当選しなかったら)「踏
み絵を踏め」「時間がない」
「急げ、急げ」とばかりに
追い立てられ、立憲内のリ
ベラル勢力はなすすべもな
く、新党に合流させられた。

その中には東京24区の萩
生田晃一と有田芳生の対立

ると脅され、泣く泣く東北
に赴いた。

総選挙での「基本政策」
の憲法問題では立憲は公明
の加憲論を飲まされた。
従来から立憲は「論憲」と
いう立場であるが、大多数
の構成員は憲法のあれこれ
の部分の「改正」はありう
るが、9条をいじる、ある
いは憲法に自衛隊を書き込
むという改憲には「反対」
だった。

飲み込んだ。
安倍晋三元首相は、20
17年に憲法9条1項2項
を残し、3項として自衛隊
の存在を憲法上明記する憲
法9条改正案を提言した。

安倍改憲案と公明
(北側)改憲案の
違いは、憲法のど
こに「自衛隊を書
き込むか」の違い
であり、憲法で自
衛隊を規定する点
では同一だ。従来
の立憲の憲法論か
ら見て、新党は大
きな路線変更をし
た。マスコミの調
査によれば、衆院
憲法審査会では明
確に改憲に反対す
るのは50人の委
員ちゅう、有田と
共産の畑野君江だ
けになった。

会が設置されれば、これら
の議論がなされ、審査会で
も設置の合意が謀られる可
能性が濃厚だ。
ちなみに衆院当選者の8
割が憲法9条改正に賛成と
いった。2月のNHK
の世論調査「高市内閣に最
も期待する政策」では、
「憲法改正」はわずか4%

せんりゅう
奇襲トランプ ゴジラの如し
平和賞そして戦争も大好き
一旦緩急アレハ働いて働いて
押して押して押して軍国へ
カフェインレス中道でキキメがない
非正規いて内部留保ガッポリ
抗議する声々届け々海へ
2026年3月
史

の様に、自民の萩生田と連
携する公明が、有田外しを
要求して、有田を東北比例
区第2位に遇する形で「排
除の論理」を強行するとい
う離れ技まで演じられた。
有田はもし無所属で出るな
ら中道から対立候補を立て

これは「9条守れ！」の
世論に配慮し、自衛隊を憲
法9条以外のところに書き
こむという公明党独自の改
憲論だ。中道新党はこれを

他の党は、維新
は9条2項削除論
で、国防軍規定導
入論だ。国民、参
政もほぼ同一だ。
自・維政策合意に
ある条文起草委員